

骨軟部腫瘍の病理診断に関する分子免疫組織学的研究 Ver. 4.5 (2022年6月25日作成)

1. 研究の対象

開院（1962年）から2024年10月13日まで、国立がん研究センター中央病院および共同研究施設（都立駒込病院と東京大学医学部附属病院）において病理学的に検討された骨軟部腫瘍（骨や血管、神経、脂肪組織、筋組織など、人体の中で上皮以外の部分に発生する腫瘍、および発生部位によらず上皮以外への分化を有している腫瘍）の採取済みの腫瘍標本、残余検体、診療録を対象とします。これらには国立がん研究センター中央病院および共同研究施設において生検や手術により採取された検体のみならず、病理解剖時に採取された検体も含まれます。また、上記以外の施設で採取され、転院やセカンドオピニオン、病理診断のコンサルテーションにあたって研究施設に提出され病理学的に検討された標本の残余検体も含まれます。また上記以外の施設で得られた診療残余情報・標本も、匿名化された状態で少数対象とします。

2. 研究目的・方法

意義と目的：

この研究を行うことにより、骨軟部腫瘍の診断をますます正確に迅速に行うことができるようになります。これによって、骨軟部腫瘍の患者さんに対する医療の質を大きく向上させることができると期待されます。本研究の目的は、骨軟部腫瘍の病理診断の正確性や迅速性の向上に役立つバイオマーカーの開発や、新しい腫瘍型（ないし亜型）の発見です。

方法：

本研究は、国立がん研究センター中央病院および共同研究施設の病理資料室、あるいは病理診断医のコンサルト記録に保存されている既に採取済みの腫瘍標本を用います。これらの標本を顕微鏡で観察し、その形態を確認し、もっとも新しい腫瘍分類基準に基づき診断を行います。また、それらの腫瘍と診断された患者さんの診療録より、年齢、性別、臨床経過等について必要な情報を収集します。さらに診療上必要なくなった残余検体をもちいて形態的な解析、免疫染色、遺伝子検索を行い、これらの腫瘍の特徴を詳しく解析し、腫瘍の診断をより正確にするための所見の抽出や、新しい腫瘍単位の発見、新しいバイオマーカーの開発を目指します。

研究実施期間：研究開始日（2014年10月14日）より10年間

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、病理検体番号、性別、年齢、既往歴、臨床経過 等

試料：生検、手術、剖検により摘出した組織 等

4. 外部への試料・情報の提供・公表

共同研究期間への試料や情報の提供は、郵送あるいは電子的配信によって行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。
研究成果は学会や論文を通して公表します。

5. 研究組織

国立がん研究センター中央病院 病理診断科 吉田 朗彦
都立駒込病院 病理科 元井 亨
東京大学医学部付属病院 病理部 牛久 哲男

－ 既存試料・情報の提供のみを行う機関

メモリアルスローンケタリング癌センター病理 クリスティーナ＝アントネスク

6. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。

この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先（研究責任者）：

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がん研究センター中央病院 病理診断科 吉田 朗彦

FAX 03-5565-7029/TEL 03-3542-2511

研究代表者：国立がん研究センター中央病院 病理診断科 吉田朗彦